



# G.G. とうしん 12月号 Vol.68

## 環境美化推進員研修会を開催しました！！

環境美化推進員は、自治会で地域の環境リーダー（ごみ分別指導、ごみ減量啓発など）として活躍されています。11月9日（木）と11月21日（火）に、ごみ減量や3Rに関する更なる知識の向上を目的に西部清掃工場で開催しました。

### ◎研修会内容

#### ①講義 地域資源を活用した「うなぎいも」の取組

講師

有限会社 コスモグリーン庭好 取締役部長  
伊藤 拓馬（いとう たくま）氏

地域の企業や生産者の出資により2013年に設立した「うなぎいも協同組合」の理事長を務め、農業振興や地域の活性化に取り組むほか、食品ロスの削減や3Rの推進にも貢献されております。



コスモグリーン庭好では、造園業で発生する草木とうなぎの加工過程で排出される残さから堆肥を作っています。その堆肥を活用して地域の異業種と連携し「うなぎいも」ブランドを立ち上げました。ごみとして捨てられていたものに着目して、新たな事業を展開していく話に参加者の方も関心深く聞かれていました。

#### ②環境啓発施設「エコはま」及び西部清掃工場 見学



エコはまに関する説明を聞き、工場内のライブ映像や説明ビデオを見た後に、工場見学を行いました。ごみピットの見学の際は、ごみクレーンで1回に約2トンのごみをつかんで運ぶとの説明に皆さん驚かれていました。



「えこはま」は、浜松市西部清掃工場管理棟の環境啓発施設です。2階の情報展示スペースでは、展示や体験を通じて、環境にやさしい「エコライフ」や「ごみ問題」を学ぶことができます。

～えこはまの取組の一部について～

- ・エコ講座  
環境やごみについて楽しみながら学べる講座や講習会、体験学習など開催しています。
- ・リユース工房  
家庭から持ち込まれた、木製家具等を修繕・清掃したのち、再生品として展示し市民の皆さんへ低価格で提供しています。
- ・もったいない市（リユース市）  
不用となった「衣類」「本」「おもちゃ」「日用品（もえるごみ対象）」などを持ち寄っていただき、必要とする人に譲り合う市を開催しています。



浜松市西部清掃工場内 環境啓発施設 えこはま

TEL：053-440-0150 HP：<http://www.hgw.co.jp/seisou/ecohama.html>

### 《 施設見学の感想 》



- 普段知ることのなかったことがわかり、大変有意義な研修で良かった。
- 各段階での処理状況が興味深かった。また減量化・エネルギー再生状況も面白かった。
- 家に帰り実行してみよう、他の人にも教えてあげようと思う。



見学の様子

## 3R推進イベントを開催しました！！

環境省が3R推進月間と位置付けている10月に、3R推進イベントを開催し、ごみ減量やりサイクルについてのパネル展示を行いました。

### 店頭イベント（10/11フレスウォーク浜北、10/17イオンモール市野）



店頭イベントでは、来場者の皆さまに生ごみの水切りグッズや雑がみの分別袋を配布しながら、ごみ減量に関する呼びかけを行いました。イベントには「出世法師直虎ちゃん」も登場し、可愛らしい姿に大人から子どもまで笑顔になり和やかなイベントとなりました。



## 展示イベント さまざまなイベントに、ごみ減量に関してパネルやグッズの展示をしました！



中央図書館



産業展示館イベントホール

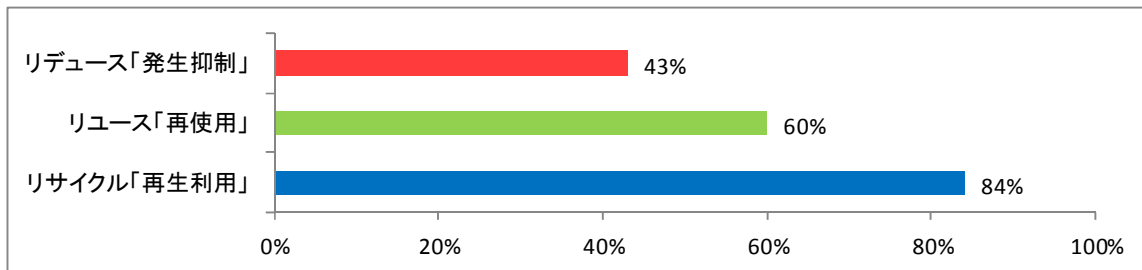


鹿玉協働センター

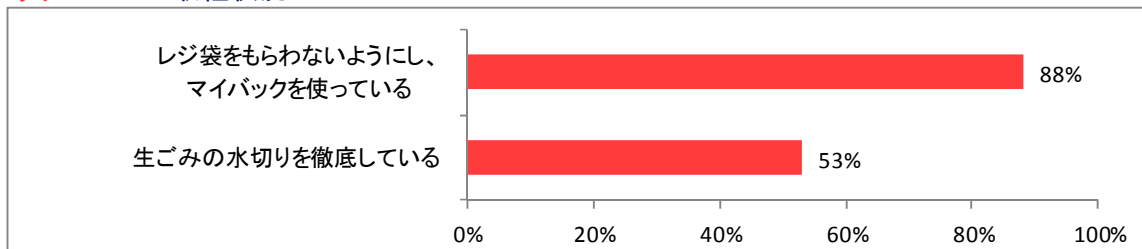
## 3Rに関するアンケート調査

3R推進イベントにおいて、来場された皆さま（798名）に対し、3Rの意識や実践に関するアンケートを実施しましたので、その結果の一部をご紹介します。

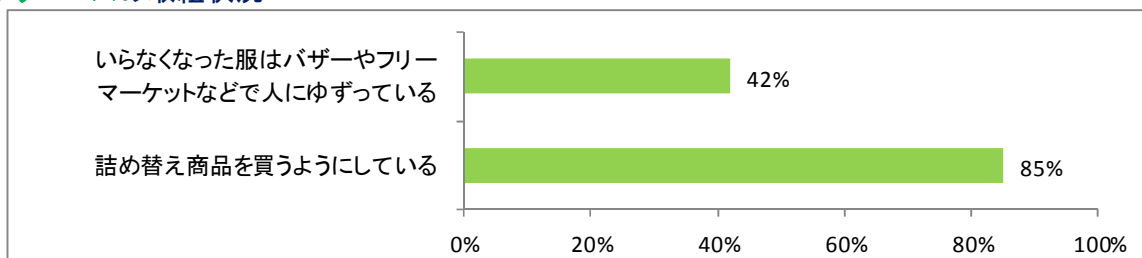
### ◆3Rが表す意味を正しく理解している。



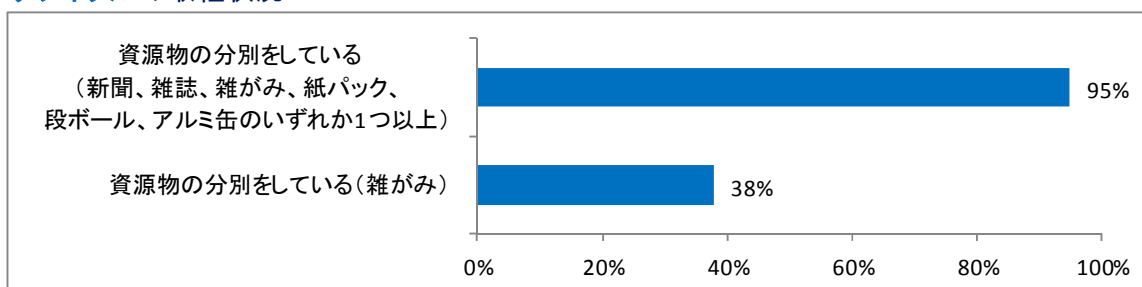
### ◆リデュースの取組状況



### ◆リユースの取組状況



### ◆リサイクルの取組状況




アンケートの結果から、マイバッグの使用や詰め替え商品の購入は、多くの皆さまが実践されているようです。一方で、生ごみの水切りや雑がみの分別の実践割合は、概ね半数でした。今後も、より多くの皆さまに生ごみの水切りや雑がみの分別ご協力いただけるよう呼びかけに努めていきます。

# 在宅医療廃棄物を捨てる時の注意について


在宅医療の普及に伴い、家庭で医療廃棄物を扱うことが増えてきました。注射針（鋭利なもの）や感染性があるものがごみ集積所に出されると作業員や利用者が怪我をしたり、感染症に感染したりする恐れがあります。注射針（鋭利なもの）や、医師の指示により感染性があると判断されたものについては医療機関へお返しく下さい。ごみ集積所の適正利用にご協力をお願いします。

## ▲医療機関へ返すもの 鋭利なもの（※集積所には出せません）



使用時 廃棄時  
(針ケース装着時)


**ペン型自己注射針、血糖自己穿刺針**  
(インスリン自己注射の針など)



自己注射以外の医療用注射針

**医療用注射針、点滴針**

## ◎「もえるごみ」に出せるもの 鋭利でないもの（針以外の部分）



栄養剤バッグ CAPDバッグ

**バッグ類**

- 輸液 ●蓄尿
- CAPD
- ストーマ（人口肛門）
- 栄養剤など各種バッグ

**※バッグに挿すプラスチック製の針は排出可能。**



**チューブ類**


- 吸引チューブ
- CAPDチューブ
- 輸液ライン
- など各種チューブ

**※針がついている場合、切り離して針以外の部分を排出する。**



**カテーテル類**

- 導尿カテーテル他




ペン型自己注射カートリッジ

**注射筒**

- ペン型自己注射カートリッジ

**※針以外の部分**



栄養剤注入器

**注射筒**

- 経管栄養などの注入器

**※針以外の部分**

**ガーゼ類**  
**脱脂綿類**  
**紙おむつ類**



紙おむつ類  
(汚物は取り除く)

～ごみの分別の徹底にご協力をお願いします～

## ■平成29年10月分の家庭系もえるごみ速報値をお知らせします

家庭系もえるごみ **11,811トン** (前年同月比 **376トン増**)

平成29年4月からの1人1日当たり平均 **489グラム**

**新目標431グラム!**

■家庭系もえるごみ月別推移

(単位:トン)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
平成29年度	11,033	12,893	11,931	11,911	12,387	11,289	11,811	83,255
平成28年度	11,669	12,846	11,426	11,749	12,191	11,487	11,435	82,803
前年度比	△ 636	47	505	162	196	△ 198	376	452

